

フランツ・シューベルト「ドイツ・ミサ曲」 D 872 (1827年作曲)

Deutsche Messe

各曲の標題と大意

1. 入祭唱 (Zum Eingang)

悩み、悲しみのとき、わたしはどこへ行けばいいだろう。神よ、あなたのもとにわたしは行く。

2. 栄光の歌 (Zum Gloria)

いと高きところ、栄光、神にあれ。

3. 福音書と信仰告白

(Zum Evangelium und Credo)

神は言われた、「光あれ」と。すると光があった。

4. 奉献 (Zum Offertorium)

わたし自身を、主よ、わたしはあなたに献げます。

5. 聖なるかな (Zum Sanctus サンクトゥス)

聖なるかな、聖なるかな、聖なるかな、主は！

6. 聖変化の後で (Nach der Wandlung)

「これはわたしのからだ、わたしの血。これを受けて、わたしの愛を思いなさい。」

7. 主の祈り (Das Gebet des Herrn)

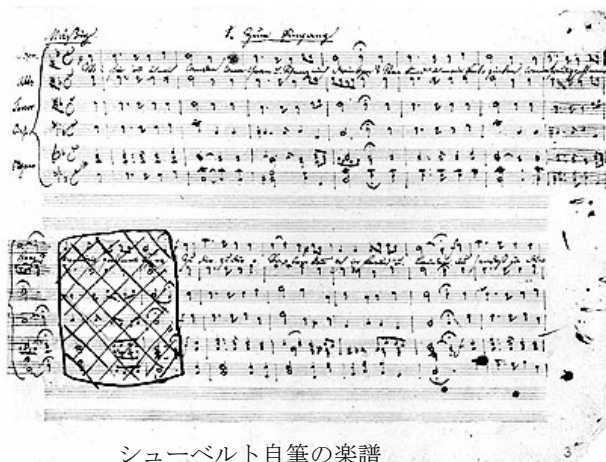
8. 神の小羊 (Agnus Dei アニュス・デイ)

人々の重い罪を除いてくださった主よ、わたしたちに平和をお与えください。

9. 終祭の歌 (Schlußgesang)

世界に、また生きていくことに向かうわたしにいま天の喜びが伴います。

祝福してください、わたしたちの人生の歩みを！。



シューベルト自筆の楽譜

歌詞・Johann Philipp Neumann (1774~1849)

ミサ曲 (キリスト教会の中心的な礼拝である聖餐式で、祈りを歌うための曲) は公的にラテン語に作曲された。バッハ、モーツァルト、ベートーヴェン、そしてシューベルトもラテン語のミサ曲を残している。

このドイツ・ミサ曲はそれとは異なり、ヨハン・フィリップ・ノイマンが、自由に書き下ろしたドイツ語のテキストに、シューベルトが作曲したもの。教会の聖餐式で用いることは禁止されていたが、それ以外の場での演奏は認められていたので、コンサート作品として普及していった。

(邦訳は井田 泉 2007/03/07 2009/08/26)

<p>1. Zum Eingang</p> <p>1 Wohin soll ich mich wenden, Wenn Gram und Schmerz mich drücken? Wem künd' ich mein Entzücken, Wenn freudig pocht mein Herz? Zu dir, zu dir, o Vater, Komm ich in Freud' und Leiden, Du sendest ja die Freuden, Du heilest jeden Schmerz.</p> <p>2 Ach, wenn ich dich nicht hätte, Was wär' mir Erd' und Himmel? Ein Bannort jede Stätte Ich selbst in Zufalls Hand. Du bist's, der meinen Wegen Ein sich'res Ziel verleihet, Und Erd' und Himmel weihet Zu süßem Heimatland.</p> <p>3 Doch darf ich dir mich nahen, mit mancher Schuld beladen? Wer auf der Erde Pfaden ist deinem Auge rein? Mit kindlichem Vertrauen eil ich in Vaters Arme, fleh reuerfüllt: Erbarme, erbarm, o Herr, dich mein!</p> <p>4 Süß ist dein Wort erschollen: Zu mir, ihr Kummervollen! Zu mir! Ich will euch laben, euch nehmen Angst und Not. Heil mir, ich bin erquicket! Heil mir! Ich darf entzückt mit Dank und Preis und Jubel mich freu'n in meinem Gott.</p>	<p>1. 入祭唱（序唱）</p> <p>1 どこへわたしは行けばいいのでしょうか、 悲しみと悩みにおしつぶされそうなとき。 だれにわたしはわたしの歓喜を語るべきでしょうか、 わたしの心が喜びに鼓動するとき。 あなたに、あなたのところに、おお、父よ、 わたしは来ます、喜びのときも苦しみのときも。 あなたは喜びを送ってくださいます。 あなたはすべての苦しみを癒してくださいます。</p> <p>2 ああ、もしわたしにあなたがおられなければ、 何の意味があるのでしょうか、わたしにとって地と天は。 あらゆる場所は追放の地となり、 わたし自身には何の確かさもありません [偶然の手]。 あなたこそは、わたしの道に 確かな目標を与えてくださる方、 そして地と天を聖別して やさしい [甘い] ふるさとの地としてくださる方です。</p> <p>3 けれどもわたしはあなたに近づくことができるのでしょうか、 多くの罪を負っているのに。 だれが地上の道で あなたの目に清いでしょうか。 子どものような信頼をもって わたしは父の腕へと急ぎます。 悔いに満ちて切にお祈りします、憐れんでください 憐れんでください、おお主よ、わたしを！</p> <p>4 あなたの言葉がやさしく [甘く] 響きわたりました。 「わたしに来なさい、悩みに満ちた者たち！ わたしに来なさい！ わたしはあなたがたを回復させよう！ あなたがたから心配と悩みを取り去ろう。」 わたしを助けてください、わたしは元気づけられました！ わたしを助けてください！ わたしはうれしさあふれ、 感謝と賛美と歓呼をもって わたしの神にあって喜びます。</p>
<p>2. Zum Gloria</p> <p>1 Ehre, Ehre sei Gott in der Höhe!</p>	<p>2. 栄光の歌</p> <p>1 栄光、栄光が神にありますように、いと高きところに！</p>

<p>Singet der Himmlischen selige Schar. Ehre, Ehre sei Gott in der Höhe! Stammeln auch wir, die die Erde gebar. Staunen nur kann ich und staunend mich freu'n; Vater der Welten! doch stimm' ich mit ein: Ehre sei Gott in der Höhe!</p>	<p>祝福された天の大軍は歌います。 栄光、栄光が神にありますように、いと高きところに！ 地から生まれたわたしたちもまた、どもりつつ言います。 わたしはただ驚くばかり、 驚きの中で喜びがこみ上げてきます。 全世界の父よ！ それでもわたしはともに加わります—— 栄光が神にありますように、いと高きところに！</p>
<p>2 Ehre, Ehre sei Gott in der Höhe! Kündet der Sterne strahlendes Heer. Ehre, Ehre sei Gott in der Höhe! Säuseln die Lüfte, brauset das Meer. Feiernder Wesen unendlicher Chor Jubelt im ewigen Danklied empör: Ehre sei Gott in der Höhe!</p>	<p>2 栄光、栄光が神にありますように、いと高きところに！ 輝く星の軍勢が告げます。 栄光、栄光が神にありますように、いと高きところに！ 空はさやぎ、海はどよめきます。 造られたものすべてが賛美する果てしない合唱が 永遠の感謝の歌を高らかに歌います。 栄光、栄光が神にありますように、いと高きところに！</p>
<p>3. Zum Evangelium und Credo</p>	<p>3. 福音と信仰告白</p>
<p>1 Noch lag die Schöpfung formlos da, Nach heiligem Bericht; Da sprach der Herr: Es werde Licht! Er sprach's und es ward Licht. Und Leben regt, und reget sich, Und Ordnung tritt hervor. Und überall, allüberall Tönt Preis und Dank empör.</p>	<p>1 世界は形なく横たわっていました、 聖なる報告（聖書）によれば。 そのとき主は言われました、光あれ！と。 主が言われると、光がありました。 生命が生じ、活動し 秩序が現れました。 そして至るところ、あらゆる場所で 賛美と感謝が高く響き渡ります。</p>
<p>2 Der Mensch auch lag in Geistesnacht, erstarrt von dunklem Wahn; Der Heiland kam, und es ward Licht! Und heller Tag brach an. Und seiner Lehre heil'ger Strahl weckt Leben nah und fern; und alle Herzen pochen Dank und preisen Gott den Herrn.</p>	<p>2 人々もまた心の闇 [霊の夜] に横たわり 暗い迷妄にこわばっていました。 救い主が来られました、すると光が生じました！ そして明るい日が明け初めました。 そして彼の教えの聖なる光は 近く遠くにいのちを呼び起こしました。 そしてすべての心は感謝に鼓動し 主なる神を称えます。</p>
<p>3 Doch warnend spricht der heil'ge Mund: Nicht frommt der Glaub' allein, nur die Erfüllung eurer Pflicht kann Leben ihm verleih'n. Drum gib ein gläubiges Gemüt!</p>	<p>3 しかし聖なる口（聖書）は警告しながら語ります。 信仰だけが役立つのではない、 あなたがたの務めを果たすことだけがそれに命を授けるの だ、と。 それですからどうか、信じる思いをお与えください！</p>

<p>Und gib uns auch, o Gott, ein liebend Herz, das fromm und treu stets folget dem Gebot!</p> <p>4</p> <p>Verleih' uns Kraft und Mut, daß wir Nicht nur die Wege seh'n, Die der Erlöser ging, daß wir Auch streben nachzugeh'n. Laß so dein Evangelium Uns Himmels Botschaft sein, Und führ' uns, Herr; durch dein Huld In's Reich der Wonnen ein.</p>	<p>そしてわたしたちにもお与えください、おお、神よ 愛する心をお与えください つねにまごごろから真実に戒めに従う心を。</p> <p>4</p> <p>わたしたちに力と勇気をお授けください、わたしたちが 救い主が行かれた道を ただ見るばかりではなく ひたすら努めてそれに従いゆくことができますように。 そうしてあなたの福音によって わたしたちが天を知ることができますように。 そしてわたしたちを、主よ、あなたの憐れみによって この上ない喜びの国に導き入れてください。</p>
<p>4. Zum Offertorium</p> <p>1</p> <p>Du gabst, o Herr, mir Sein und Leben, Und deiner Lehre himmlisch Licht. Was kann dafür, ich Staub, dir geben? Nur danken kann ich, mehr doch nicht.</p> <p>2</p> <p>Wohl mir ! Du willst für deine Liebe Ja nichts, als wieder Lieb' allein; Und Liebe, dankerfüllte Liebe Soll meines Lebens Wonne sein.</p> <p>3</p> <p>Mich selbst, o Herr, mein Tun und Denken und Leid und Freude opfr' ich dir; Herr, nimm durch deines Sohnes Opfer dies Herzensopfer auch von mir.</p>	<p>4. 奉献</p> <p>1</p> <p>あなたはお与えになりました、おお、主よ、わたしに存在と 生命を、そしてあなたの教えの天の光を。それに対して、塵 にすぎないわたしがあなたに何をお献げすることができるで しょうか。ただ感謝することしかできません。</p> <p>2</p> <p>なんと幸いなことでしょう！ あなたはあなたの愛に対し て、ただそれに答える愛のほか、何も求められません。 そして愛は、感謝に満ちた愛は 必ずわたしの生涯のこの上ない喜びとなるでしょう。</p> <p>3</p> <p>わたし自身を、おお主よ、わたしの行いと思い、 そして苦しみと喜びを、わたしはあなたにお献げします。 主よ、あなたの御子によってお受けください、 この心からの献げ物を、わたしからも。</p>
<p>5. Zum Sanctus</p> <p>1</p> <p>Heilig, heilig, heilig, heilig ist der Herr! Heilig, heilig, heilig, heilig ist nur er! Er, der nie begonnen, Er, der immer war, Ewig ist und waltet, Sein wird immerdar.</p> <p>2</p> <p>Heilig, heilig, heilig, heilig ist der Herr!</p>	<p>5. サンクトゥス（聖なるかな）</p> <p>1</p> <p>聖なる、聖なる、聖なる、聖なるかな、主は！ 聖なる、聖なる、聖なる、聖なるかな、ただこの方は！ この方は、はじめなく この方は、つねにおられた。 永遠であって統治される。 いつまでもおられる。</p> <p>2</p> <p>聖なる、聖なる、聖なる、聖なるかな、主は！</p>

<p>Heilig, heilig, heilig, heilig ist nur er! Allmacht, Wunder, Liebe, Alles ringsumher! Heilig, heilig, heilig, heilig ist der Herr!</p>	<p>聖なる、聖なる、聖なる、聖なるかな、ただこの方は！ 全能、驚き、愛、 あらゆるものがその周りに！ 聖なる、聖なる、聖なる、聖なるかな、主は！</p>
<p>6. Nach der Wandlung</p> <p>1</p> <p>Betrachtend deine Huld und Güte, O mein Erlöser, gegen mich, Seh' ich, beim letzten Abendmahle Im Kreise deiner Teuren dich. Du brichst das Brot, Du reichst den Becher, Du sprichst: Dies ist mein Leib, mein Blut, Nehm hin und denket meiner Liebe, Wenn offernd ihr ein Gleiches tut.</p> <p>2</p> <p>Wir opfern hier, nach deinem Worte, Auf deinem heiligen Altar; Und du, mein Heiland, bist zugegen, Des Geistes Aug' wird dich gewahr. Herr, der du Schmerz und Tod getragen, Um uns das Leben zu verleih'n, Laß dieses Himmelsbrot uns Labung Im Leben und im Tode sein!</p>	<p>6. 聖変化の後に</p> <p>1</p> <p>あなたの憐れみと慈しみを深く思いつつ—— おお、わたしの救い主よ、それはわたしに向けられたもの。 わたしは見ます——最後の晩餐において あなたの大切な人々の交わりの中で、あなたを。 あなたはパンを裂き あなたは杯を差し出し あなたは言われます、 「これはわたしの体、わたしの血。 取って、わたしの愛を思いなさい。 あなたがたが献げつつ同じように行うときに」と。</p> <p>2</p> <p>わたしたちはここにお献げします、あなたの言葉に従って、 あなたの聖なる食卓の上に。 そしてあなたが、わたしの救い主、あなたが共におられます。 霊（心）の目にあなたが見えます。 主よ、あなたは苦しみと死を負われました、 わたしたちに生命を与えるために。 この天のパンがわたしたちを力づけるものになりますように、 生きるときも死ぬときも！</p>
<p>7. Anhang: Das Gebet des Herrn</p> <p>1</p> <p>Anbetend Deine Macht und Größe Versinkt in Nichts mein bebend Ich. Mit welchem Namen, Deiner würdig, Du Unnennbarer, preis ich Dich? Wohl mir! Ich darf Dich Vater nennen, nach Deines Sohnes Unterricht; So sprech' ich denn zu Dir, mein Schöpfer Mit kindlich froher Zuversicht.</p> <p>2</p> <p>O Vater, der Du bist im Himmel Und überall zu jeder Zeit,</p>	<p>7. 主の祈り</p> <p>1</p> <p>あなたの力と偉大さを崇めつつ、おののきながら、 わたしは自分の取るに足りなさを思って沈みます。 あなたにふさわしいどのような名をもって、あなたをほめた たえましょうか。言葉では言い表わせないあなたを。 なんとわたしは幸いなことでしょうか！ わたしはあなたを父 と呼ぶことがゆるされています、あなたのみ子の教えによっ て。それでわたしはあなたに語りかけます、「わたしの造り 主よ」と、幼子のように喜ばしい確信をもって。</p> <p>2</p> <p>おお、父よ、あなたは天におられます。 またどのような所にもどのような時にも（おられます）。</p>

Zu preisen Deinen Vaternamen
Sei jedem Herzen Seligkeit!
O laß durch Deine Huld und Liebe
Erscheinen uns Dein Gnadenreich,
Und treues Tun nach Deinem Willen
Mach' auch die Erde himmelgleich!

3

Herr, der du nährst die jungen Raben,
du kennst auch deiner Kinder Not.
Nicht ist vergebens unser Flehen:
Gib uns auch täglich unser Brot!
Vergib uns, was wir irrend fehlten,
wenn wir die Schuld vor dir bere'n,
wie wir auf Dein Gebot den Brüdern,
wie wir den Feinden auch verzeih'n.

4

Will die Versuchung uns verlocken,
gib Kraft, o Herr zum Widerstand!
So vor der Seele höchstem Übel,
vor Sünde schütz' uns deine Hand.
Send' uns Geduld und Trost in Leiden!
Und kann's zu unser'm Heil gescheh'n,
so laß durch Deine Vätergüte,
den bitteren Kelch vorübergehn!

8. Zum Agnus Dei

1

Mein Heiland, Herr und Meister!
Dein Mund so segenreich,
Sprach einst das Wort des Heiles:
»Der Friede sei mit Euch!«
O Lamm, das opfernd tilgte
Der Menschheit schwere Schuld,
Send' uns auch deinen Frieden
Durch deine Gnad' und Huld.

2

In dieses Friedens Palmen
erstirbt der Erdschmerz,
sie wehen Heil und Labung
ins sturmbewegte Herz;
und auch der Erden Freude

あなたの父の名を賛美することが
あらゆる人の心にこの上ない喜びとなりますように。
おお、あなたの憐れみと愛によって
あなたの恵みの国がわたしたちに現れますように。
そして真実のわざが、あなたの意志のとおり
この地をも天のように造りかえますように！

3

主よ、あなたは幼い鳥を養われる方。
あなたはあなたの子らの苦境を知っておられます。
わたしたちの切なる祈りは空しくありません。
わたしたちにも日毎にわたしたちのパンをお与えください！
わたしたちが犯した罪をおゆるしください。
わたしたちがあなたの前に悔いるとき。
わたしたちがあなたの戒めによって兄弟を、
またわたしたちが敵をもゆるしますように。

4

誘惑がわたしたちを引き行こうとするとき、
力をお与えください、主よ、抵抗できるように！
そして魂のもっともひどい悪から、罪から
あなたの御手がわたしたちを守ってくださいますように。
苦しみのときわたしたちに忍耐と慰めをお与えください。
そしてできますことならわたしたちの救いのために
あなたの父の憐れみによって
苦い杯を過ぎ去らせてください。

8. 神の小羊

1

わが救い主、主よ、師よ！
あなたの口は祝福に満ちて
かつて救いの言葉を語られました、
「平和があなたがたとともにあるように！」と。
おお、小羊よ、身をささげて
人々の重い罪を除かれた主よ、
わたしたちにもあなたの平和をお送りください、
あなたの恵みと慈しみによって。

2

この平和のしゅろ（栄冠）の中で
地上の苦しみは絶え、
ご覧ください、救いと励ましが
嵐にさらされた心に吹きこみます。
そして地上の喜びも

durch ihn geheiligt blüht
entzückender und reiner
dem seligen Gemüt.

3

Herr, unsre Lieben alle,
die nun bereits von hier
ins Land des Friedens gingen,
nimm sie, nimm sie zu dir!
Lass einst sie dort uns finden!
O seliger Verein,
wenn wir des Himmelsfrieden
zusammen uns erfreu'n!

4

Mein Heiland, Herr und Meister,
O sprich erbarmungsreich
Zu uns das Wort des Heiles:
»Der Friede sei mit Euch!«
Send' uns den Himmelsfrieden,
Den nie die Erde gibt,
Der nur dem Herzen winket,
Das rein und treu dich liebt!

9. Schlußgesang

Herr, du hast mein Fleh'n vernommen,
Selig pocht's in meiner Brust,
In die Welt hinaus, in's Leben
Folgt mir nun des Himmels Lust.
Dort auch bist ja du mir nahe,
Überall und jederzeit.
Allerorten ist dein Tempel,
Wo das Herz sich fromm dir weiht.
Segne, Herr, mich und die Meinen,
Segne unsern Lebensgang!
Alles unser Tun und Wirken
Sei ein frommer Lobgesang.

それによって聖なるものとされて花咲き乱れます、
喜びに溢れて清く
祝福された心に。

3

主よ、わたしたちの愛するすべての人々——
今すでにここから
平和の国に入った人々——
彼らを捕えてください、あなたのもとに彼らを捕えてくださ
い！ いつか彼らがそこにわたしたちを見出すことができま
すように！ おお、祝福された群れよ、
わたしたちが天の平和を
共に楽しむときに！

4

わが救い主よ、主よ、師よ！
おお、憐れみ深く語ってください、
わたしたちに救いの御言葉を
「平和があなたがたとともにあるように！」と。
わたしたちに天の平和を送ってください。
この地上がけっして与えることのない平和を。
それはただこのような心にだけ呼びかけるのです。
清く真実にあなたを愛する心に！

9. 終祭の歌

主よ、あなたはわたしの切なる祈りを聞いてくださいました。
わたしの胸の中で何か、この上ない幸せに鼓動していま
す。世界に、また生きていくことに向かうわたしに
いま天の喜びが伴います。
そこにもあなたはわたしに近くおられます
どのような所、どのような時にも。
あらゆるところはあなたの神殿です、
人が心を深くあなたにお献げするところは。
祝福してください、主よ、わたしとわたしのまわりのものを。
祝福してください、わたしたちの人生の歩みを！
わたしたちのすべてのわざと働きが
真心からの賛美の歌となりますように。

